

目 次

令和 5 年 9 月 1 2 日（火曜日）第 2 号

○招集年月日	-----	1 頁
○招集の場所	-----	1 頁
○開 議 日 時	-----	1 頁
○応 招 議 員	-----	1 頁
○不応招議員	-----	1 頁
○出 席 議 員	-----	1 頁
○欠 席 議 員	-----	1 頁
○地方自治法第 1 2 1 条の規定により説明のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○本会議に職務のため出席した者の職氏名	-----	1 頁
○議 事 日 程	-----	2 頁
○開 議 宣 告	-----	3 頁
○一 般 質 問	大谷議員 -----	3 頁
	・病院津波浸水について	
	高橋議員 -----	4 頁
	・マイナンバーカード普及率、現状は	
	高森議員 -----	6 頁
	・ふれあい公園の維持・管理・整備の方向性について	
	・小・中学校の暑さ対策について	
○休会の決定	-----	10 頁
○散 会 宣 告	-----	10 頁

令和5年第3回長万部町議会定例会（第2日目）

◎招集年月日 令和 5年 9月12日（火）

◎招集の場所 長万部町役場 議場

◎開議日時 令和 5年 9月12日（火） 午前10時00分

◎応招議員（8名）

~~1番 辻 義雄~~
2番 橋本 収司
3番 辻 紀樹
4番 大谷 敏弥
5番 北川 佳嗣

6番 高森 功治
7番 長崎 厚
8番 高橋 克英
~~9番 村川 毅~~
10番 柏倉 恵里子

◎不応招議員（2名）

1番 辻 義雄

9番 村川 毅

◎出席議員 応招議員に同じ

◎欠席議員 不応招議員に同じ

◎地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	木 幡 正 志	建設課 長	上 野 訓
副 町 長	佐 藤 英 代	水道ガス課 長	中 里 博 也
総 務 課 長	佐 藤 久	出 納 室 長	岡 野 喜美雄
まちづくり推進課 長	中 山 裕 幸	消 防 長	沼 田 明 宏
新幹線推進課 長	岸 上 尚 生	病院事務 長	本 前 武 広
税 務 課 長	田 中 浩	病院事業推進室 長	加 藤 典 明
税 務 課 参 事	佐 藤 修	教 育 長	近 藤 英 隆
町 民 課 長	佐 藤 剛	学 校 教 育 課 長	對 馬 政 宏
保 健 福 祉 課 長	岡 部 忠	社 会 教 育 課 長	神 野 隆 之
子ども子育て推進室 長	田 野 憲 哉	選挙管理委員会書記 長	佐 藤 久
産 業 振 興 課 長	小 川 洋	監 査 事 務 局 長	増 田 理 恵
農 業 政 策 室 長	濱 谷 陽 一	農業委員会事務局 長	小 川 洋

◎本会議に職務のため出席した者の職氏名

議 会 事 務 局 長 増 田 理 恵
事 務 局 主 幹 佐々木 学
議 事 係 吉 井 雄 貴

◎議事日程

日程第 1

一 般 質 問

◎開議宣告

10時00分 開会

○議長（柏倉恵里子） ただいまの出席議員は8名であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

なお、欠席届が辻義雄議員、村川議員よりありました。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

◎一般質問

○議長（柏倉恵里子） 日程第1、一般質問を行います。質問通告書は事前に配付しておりますが、質問者は3名、質問件数は4件となっております。

この際申し上げます。一般質問の質問時間は各議員40分以内と決定しております。質問時間の終了3分前と、終了時にブザーを鳴らしますのであらかじめご承知おきください。

それでは順次質問を許します。

大谷議員。

〔議員（4番 大谷敏弥）登壇〕

○議員（4番 大谷敏弥） 病院津波浸水について。

北海道新聞が津波浸水想定区域を調べたところ、最大規模の津波が発生した場合に被災する恐れがある浸水区域内に立つ病院に、長万部町立病院も指摘されている。

津波などの災害時に、地域の救急医療の拠点となる長万部町立病院の医療体制の維持機能に支障が出ることはあきらかだ。

町民の治療の要となる病院の機能が失われると、地震や津波で出た怪我人はもとより、病人を受け入れる事も難しくなる。

いつどこで発生するかわからない大地震、津波で病院の機能が失われれば犠牲者が増える懸念があり、早期の対策を考えねばと思うが、町長の所信を伺う。

〔議員（4番 大谷敏弥）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

〔町長（木幡正志）登壇〕

○町長（木幡正志） 病院の津波浸水について、ご回答申し上げます。

令和2年4月に、国が「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」を公表したことに伴い、北海道は令和3年7月に、太平洋沿岸で「最大クラスの津波」が発生した場合に想定される津波高、浸水域等を示した津波浸水想定を設定・公表し、本町は令和3年10月に、津波災害警戒区域の指定を受けております。

町立病院は、北海道が公表した津波浸水想定区域内に立地しており、また、昭和58年1月の開院から40年以上が経過し施設の老朽化が進んでいることから、令和5年3月に町民の代表等からなる病院事業検討委員会を設置し、施設の津波浸水区域外への移転を含めた今後の病院のあり方について、ご意見をいただいているところであります。

北海道が想定する最大クラスの津波が発生した場合には、病院機能にも影響が出ることから、早期の移転改築が望まれますが、新病院の開設には関係機関との調整や各種計画の策定など、多くの

手続きを要することから、当面は既存の施設を最大限活用しながら、近隣病院との連携などを含めた医療体制の確保に努めてまいります。以上です。

〔町長（木幡正志）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 大谷議員。

○議員（４番 大谷敏弥） 何点か質問いたします。いつ発生するかわからない大地震、病院の機能が失われれば、災害時の医療現場は逼迫した状態になります。医療体制の維持に支障が出かねると思うので、最低限の治療器材を確保しておくことで、患者に対しての治療もできると思いますが、いかがですか。

○議長（柏倉恵里子） 本前病院事務長。

○病院事務長（本前武広） お答えいたします。病院機能が喪失する規模の災害が発生した場合には、町内にも、全域にも大きな被害が出ていることが想定されます。まずは避難を優先して、状況により対処していかなければならないと考えますが、まず、カルテにつきましては、電子データにつきましては受診者のデータが５年間保存されておりますので、それを対比することによりまして、患者さんの状況を把握できます。また、ご質問にありました診療材料などにつきましては、入院患者用につきましては、２階のほうで保管はしております。その他につきましては管理上の問題もあることから、それぞれ薬局や中央材料室などで保管をしております。現状は以上のような状態になっております。

○議長（柏倉恵里子） 大谷議員。

○議員（４番 大谷敏弥） それでは次に、病院に関連する調剤所も残念ながら津波の被害に遭うと思います。津波でカルテや薬など流されると、患者に処方することが困難になると思うので、津波から守る対策をしておくことで、患者にスムーズな対応ができると思いますが、いかがですか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 調剤薬局の内容ですか。調剤薬局民間ですよ。調剤薬局は民間の経営ですから、直接私どもが、その津波対策をどう講じるかということについてお話しはできません。

○議長（柏倉恵里子） 以上で大谷議員の質問を終わります。

高橋議員。

〔議員（８番 高橋克英）登壇〕

○議員（８番 高橋克英） １問質問します。マイナンバーカード普及率、現状は。

マイナンバーカードは国・そしてデジタル庁の肝いりの政策だったはずだが、目的は国民の利便性向上と、行政の効率化を図るためのものだったと思います。

しかし、様々なトラブルが毎日のように新聞・テレビ・ラジオ等で報道されております。保険証とマイナンバーカードを一本化するマイナ保険証では、同姓同名の他人の情報が紐付けされたケースが特に多かったと聞いております。

こうした流れの中で町民の方々も不信感が募り、制度そのものに協力できなくなることを危惧しております。

直近の情報では、国はマイナンバーカード未取得者には資格確認書というものを発行し、医療機関へ提示すれば保険診療を受けられるということ。上限は５年と聞いております。

しかし、手続きの作業そのものは、各自治体での発行となるそうです。行政にとってはかなりの負担になると思われます。

町としてこれからマイナンバーカード普及促進へ向け、どのように勧めていくのか、町長の考えをお聞きしたい。以上です。

〔(8番 高橋克英) 自席へ〕

○議長(柏倉恵里子) 木幡町長。

〔町長(木幡正志) 登壇〕

○町長(木幡正志) マイナンバーカードの普及率、現状は。お答えをいたします。

マイナンバーカードは、対面でもオンラインでも安全・確実に本人確認を行うことができるデジタル社会の基礎となるツールであり、健康保険証としての利用や自己の薬剤情報、特定健診情報等の閲覧、公金受取口座の登録、新型コロナワクチンの接種証明書の取得など、その利活用シーンは拡大しております。

長万部町のマイナンバーカードの交付状況については、令和5年8月31日現在での3,733人の交付となっており、令和5年1月1日時点の人口4,880人のうち76.5%の交付率となっております。

役場町民課では、写真のお持ちでない方など窓口に来ていただくだけで、写真撮影から申請までできるようサポートしております。今後も継続して実施し、広報などを利用しマイナンバーカードの普及促進を進めてまいりたいと考えております。以上です。

〔町長(木幡正志) 自席へ〕

○議長(柏倉恵里子) 高橋議員。

○議員(8番 高橋克英) 何点か再質問させていただきます。マイナンバーカードの交付が今答弁されたところで76.5%の交付率とお聞きしました。これは自治体の中でもかなりの普及率と思われます。この中で実際にマイナ保険証の紐付けミスというのはなかったのかどうかお聞きします。

○議長(柏倉恵里子) 木幡町長。

○町長(木幡正志) ミスは報告されておられません。

○議長(柏倉恵里子) 高橋議員。

○議員(8番 高橋克英) 76.5%、残りの25~6%の町民の方々にはこれからどのような対応をされていくのかお聞きしたい。

○議長(柏倉恵里子) 木幡町長。

○町長(木幡正志) 100%、ゼロ歳児まで。ということは100%というのはちょっと難しいんじゃないかと感じてはいるんだけど。実際に生まれてすぐ口座番号がもらえるわけでもなし、そのあたりをどこのあたりで線引きしていかなきゃいけないのかというのは、これひとつの大きな課題になってるんだけど、担当課も土日の利用、窓口開いて申請をしたり、夜間もやって、ようやく76.5%まで上げた。それは大変な努力だと思ってはいるんだけど、今後これ以上増えるかというのは、例えば高齢者、施設に入っている高齢者、寝たきりの方々もおられるし、また、出生されて1年未満の、そのあたりの登録どうするのっていう話も、例えばゼロ歳児に口座番号持たせてマイナンバーカード作るということ可能なんだろうかということも含めて、それがやっぱり証明書の形になるのかなって感じはしてて、76.5%の普及率、これは非常に高い普及率だし、これを超える普及率までいくっていうのは難しいのかなと。最近もそれこそ土日対応もしてるんだけど、ぼつぽつとは、例えば今日1人来たよとかさ、そういう感じであまり大きな普及率の向上にはつながってない。その中で静狩の郵便局、長万部の郵便局、国縫の郵便局でも協力してくれて、この76.5%まできたということは、評価に値すべきだなっていう気はしてます。ただ、これ以上の普及率はちょっと今想定できない。と思ってます。

○議長(柏倉恵里子) 高橋議員。

○議員（８番 高橋克英） わかりました。それでは最後に、全国的には様々なミスが多発してま
す。これは国からの点検マニュアル的なものってのは、行政側に届いているものなのでしょうか。

○議長（柏倉恵里子） 佐藤町民課長。

○町民課長（佐藤剛） 国のほうで今やっているマイナンバーによる情報連携の正確性確保に向け
た総点検の実施ということで、当町においてはそのマイナンバーカードに対しての紐付け関係だと
か、その辺の調査については来てます。それに対しては協力してます。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 以上で高橋議員の質問を終わります。

高森議員。

〔議員（６番 高森功治）登壇〕

○議員（６番 高森功治） 私の質問は２点であります。１問目、ふれあい公園の維持・管理・整
備の方向性について。

ふれあい公園は、長万部町開基１２０年、町制施行５０年の記念事業として、都市公園の地区公
園として整備し、平成８年１１月１日から全面使用できるようになりました。

今年、長万部町は開基１５０年の年であります。したがって、ふれあい公園は整備から約３０年
経過し、設備の老朽化も出てきています。

また、この公園はスポーツ少年団も使用していることから、今後の維持・管理・整備について町
長の所見を伺います。

２問目、小・中学校の暑さ対策について。

今年の６月から８月までの３か月の全国平均気温は、これまで最も暑かった２０１０年を大きく
上回り、過去１２６年の中で最も暑い夏となりました。特に気温が高かったのは北海道と東北で、
すべての県庁所在地で８月の平均気温が観測史上１位を記録しました。

そのような中、伊達市において８月２２日、体育の授業後に小学２年生が熱中症とみられる症状
で病院に搬送され、その後亡くなりました。また、長万部町においても、８月２５日、小学校が
暑さのため短縮授業となりました。

温暖化の影響でこの先も暑い夏が続くと思われます。今後、どのような対応をとられるのか、教
育長の所見を伺います。以上です。

〔議員（６番 高森功治）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

〔町長（木幡正志）登壇〕

○町長（木幡正志） 私は１点について答弁申し上げたいと思います。ふれあい公園の維持・管理
・整備の方向性について。

ふれあい公園ですが、ご質問のとおり供用開始から約３０年を経過しようとしており、各施設整
備の老朽化が目立ってきていることから、本年度におきましては、あやめ公園も含め大型施設の劣
化度調査業務委託を実施しております。その結果に基づき更新および修理を判断してまいります。

ふれあい公園は町民の憩いの場はもとより、少年団をはじめとする体育関係団体の使用、毛がに
まつり会場でもありますので、従来同様に維持・管理・整備を継続して取り組んでまいります。以
上です。

〔町長（木幡正志）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 近藤教育長。

〔教育長（近藤英隆）登壇〕

○教育長（近藤英隆） 小・中学校の暑さ対策について。

本町においても、今年の夏は例年になく非常に暑い日が続き、夏季休業後も記録的な猛暑になっており、小・中学校の暑さ対策には十分注意喚起を行っております。

現在、町内の小・中学校においては、暑さ対策の一環として、天井設置型扇風機や置き型扇風機の設置に加え、昨年度から2か年で網戸の設置などを実施しております。

今年については、30度を超える日が続いたこともあり、熱中症対策として、児童生徒に対して、こまめな水分補給や適度な休息を徹底するよう指示しております。

今後の暑さ対策としては、児童生徒の安心で安全な教育活動の実現に向け、学校や関係者等と協議し、検討してまいります。

〔教育長（近藤英隆）自席へ〕

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） それでは何点か質問させていただきます。今現在町が管理している公園というのは、ふれあい公園を含めていくつありますか。

○議長（柏倉恵里子） 上野建設課長。

○建設課長（上野訓） ただいまのご質問ですが、町で現在管理している公園につきましては、ふれあい公園、あやめ公園、長万部公園、みなみ児童公園、静狩広場緑地利用施設、国縫漁港海浜公園、とみのの森の7つであります。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 今回のこの劣化度調査なんですけれども、この施設の種類と、調査方法について、ちょっと詳しくお聞きします。

○議長（柏倉恵里子） 上野建設課長。

○建設課長（上野訓） 今回の実施しております劣化度調査につきましては、まずふれあい公園につきましては、ステージ屋根、エントランスデッキ、パーゴラ、野球場バックネット、野球場外野フェンスであります。あやめ公園につきましては、木製橋梁、ザイルクライミングであります。

調査方法につきましては、専門技術者において、目視、触診、打診、各種計測。木製施設については、集成材貫入試験による劣化状況を調査しているところでございます。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 町内各所に公園があるわけですが、今後新たな設備を整備する予定はありますでしょうか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） まず、今の6つある公園の調査を終えて、その維持・管理を今後どうしていくかということをきちっと整理をしていきたいと思ってるし、今のところこのほかに公園の管理云々というのは考えてないんだけど、いずれ新幹線の広場ができてくると、そうした案もまた生まれてくるのかなと思っております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 先ほどの答弁の中で、町が管理している公園が7つ、ということですが、今後長万部の人口も減っていくことから、大きい意味ではコンパクトシティの考えになると思うんですが、今すぐ公園を廃止するとかそういうことではなくて、これから時間が経つにつれて劣化していくわけですから、将来的に統合も含めて公園にかかる資源とかお金、それをふれあい公園に集中してはいかがですかね。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 長万部、静狩から国縫まで、広大な地域をカバーしている、そこにはまだ大事なコミュニティとして人々が暮らしている場所も往々にしてあるので、だからそこを今集約して1か所にまとめるということについては、まず今のところは考えていない。ただし、人口が減って、ほとんどそこに人がいなくなって本当にコミュニティシティのように、町の中に集約されてくるのであれば、そのときはやっぱり考えなきゃいけないのかなど。今はそのままの状態にしたい。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） ふれあい公園は、毛がにまつりの会場ということもございまして、過去に水道管、下水管も引いてもらった経緯がありました。電気の配線というのは今もないんですけども、全国的に働く人も減ってきて、どこの企業も人手不足ということが言われている中で、電気ケーブルを埋設していただくと、このイベントのたびに電気を引いたり、それを撤去するということがなくなります。そして災害時には避難場所として使うことも可能だと思うんですけども、その辺はいかがお考えですか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 今10月に劣化度調査、委託先から上がってくるんで、その内容を熟知して、それから検討しながら、必要なかどうか、それとまた地下に電気配線すると、長いこと置くことによって、水だとか様々な障害によって積雪しといて長く置くことが大丈夫なのかどうか考えていかないと、なかなかそれをやるっていうことは難しいのかな。まあ今調査委託が上がってきた段階でじっくりと考えます。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） ありがとうございます。それでは2問目にいきたいと思います。

この夏は暑かったですけども、熱中症とみられる症状で体調を崩した生徒や児童はありましたか。

○議長（柏倉恵里子） 近藤教育長。

○教育長（近藤英隆） 小学校、中学校からは、熱中症により体調を崩した子どもの報告は受けておりません。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 現状の、小学校と中学校の児童と生徒の数をお聞きます。

○議長（柏倉恵里子） 対馬学校教育課長。

○学校教育課長（対馬政宏） お答えいたします。小学校が162名、中学校が97名となっております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 両方で259名ですか。ということなんですけども、この子どものためにこのエアコンを設置する場合、小学校と中学校でそれぞれ何クラスくらいになりますかね。美術室とか理科室は除いて、普段いる教室のクラスの数をお聞きます。

○議長（柏倉恵里子） 近藤教育長。

○教育長（近藤英隆） まず、小学校になりますけども、普通教室が6教室、特別支援学級教室が3教室となります。合わせて9教室。中学校では普通教室3教室と、特別支援学級教室が2教室となり、合わせて5教室となります。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） そうなると、14教室ということですけども、その場合エアコンを

設置するとなりますと、大体、概算でいいんですけども、設置費用はどれくらいになるとお考えですか。

○議長（柏倉恵里子） 対馬学校教育課長。

○学校教育課長（対馬政宏） エアコンの設置費用の概算でございますが、小中学校については細部についての設計は現在行っておりませんが、各教室単体でエアコンの設置にあたりましては、1教室2台の設置で、工事費を含めると1教室70万程度かかると試算しております。小中学校で設置いたしますと、約1,000万円程度はかかるものと考えております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） エアコンを設置する場合にあたり、国なり道なりから、補助金がありますか。その場合の、あるとしたら補助率は大体どれくらいになるかお聞きします。

○議長（柏倉恵里子） 対馬学校教育課長。

○学校教育課長（対馬政宏） 学校施設改善交付金がありますが、補助率は3分の1となっております。ただし、対象工事の下限が400万となっております、小中学校等の空調設備の更新にあたる経費に対応ができるかと思えます。ただし、補助採択の時期等があり、これから申請等を行うと来年度には間に合わず、再来年度に採択になる可能性があるというふうに考えております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） ということは、概算で大体1,000万円、その内補助金で3分の1が入るということは、大体町の持ち出しが700万円くらいということであってますか。

○議長（柏倉恵里子） 対馬学校教育課長。

○学校教育課長（対馬政宏） 小学校、中学校が別々になりますので、中学校は5教室の部分でありますので、1教室あたり70万かかると、350万なので、下限には該当せず、小学校しか対応できないかなというふうに考えております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 来年度の採択、補助金の採択は難しいということなんですけれども、そうなった場合、今年の暑さを体感して、来年はどのような暑さ対策を考えておりますか。

○議長（柏倉恵里子） 近藤教育長。

○教育長（近藤英隆） これも協議が必要になってくると思いますが、遮光用のカーテンや、レースカーテンの取り付けや、児童・生徒に対して冷感タオルやネッククーラーなどを購入して個人個人に与えて、涼しさを味わってもらおうということもひとつの方法として考えております。以上です。

○議長（柏倉恵里子） 高森議員。

○議員（6番 高森功治） 学校設置者である町長にお聞きしたいと思うんですけども、今のこのやり取りを聞いていて、どうですかね、前向きにご検討いただけませんか。

○議長（柏倉恵里子） 木幡町長。

○町長（木幡正志） 先ほどからも話出てたんですけども、8月の22日、伊達小学校の2年生の女子児童が亡くなられた。これ本当に悲しいことだなと思うし、子どもが亡くなった、子ども、遺族含めてご冥福をまずお祈りをしたいなと思っております。

今教育委員会のほうから様々答弁していたんですが、まだ相対的に教育委員会のそうした考え方も我々把握をしておりませんので、学校設置者としても、今後とも各担当課を含めて協議をしながら検討を重ねていきたい。先ほどの答弁あったとおり、今年は間に合わないと言ってるわけだから、

そこら辺も含めて、いつ、どの時期に、きちっとした対策を練るかということを考えていきたい、そう思ってます。

○議長（柏倉恵里子） 以上で高森議員の質問を終わります。

以上をもって一般質問は通告どおり全部終了いたしました。これにて一般質問を終わります。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

◎休会の決定

○議長（柏倉恵里子） お諮りいたします。9月13日、14日は決算審査特別委員会の付託案件審査のため休会としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ご異議なしと認めます。よって、9月13日、14日は休会することに決定いたしました。

なお、本会議は9月15日午前10時から再開いたしますのでご承知おき願います。

◎散会宣告

○議長（柏倉恵里子） 本日はこれにて散会いたします。ご苦勞様でした。

10時32分 散会
